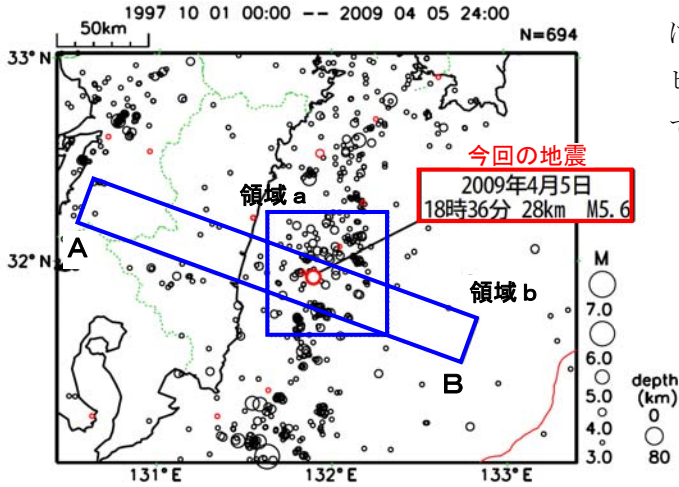


# 2009年4月5日 日向灘の地震

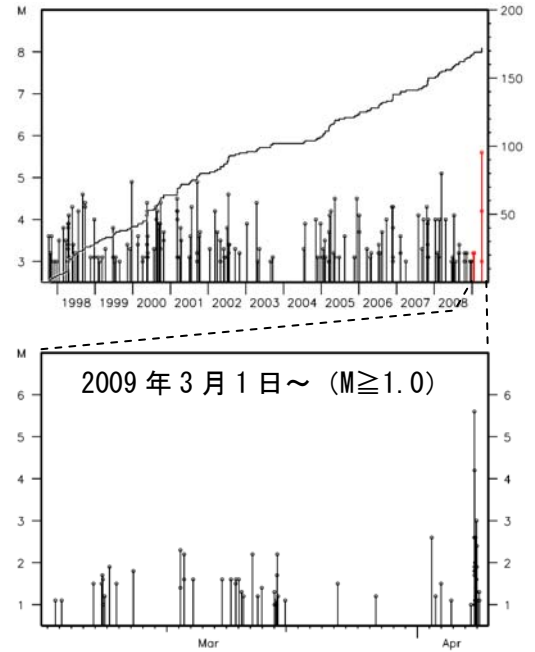
震央分布図

(1997年10月以降、深さ0~80km、 $M \geq 3.0$ )

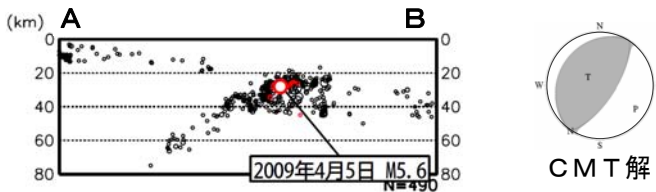


2009年4月5日18時36分に日向灘の深さ28kmでM5.6 (最大震度4)の地震が発生した。発震機構 (CMT解) は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図

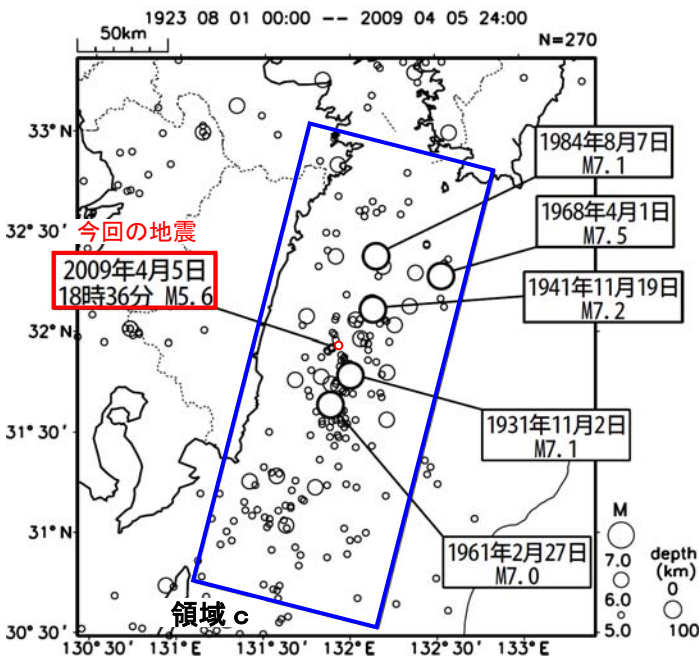


領域 b 内の断面図 (A-B 投影、 $M \geq 2.0$ )



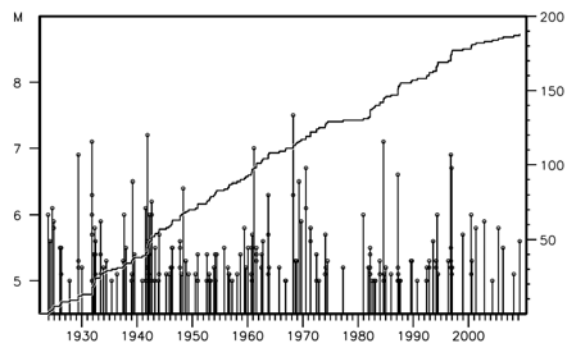
震央分布図

(1923年8月以降、深さ0~100km、 $M \geq 5.0$ )



1923年8月以降の活動を見ると、日向灘では $M \geq 7.0$ の地震が5回発生しており、最近では1984年8月7日にM7.1 (最大震度4)の地震が発生している。

領域 c 内の地震活動経過図



# 4月6日 イタリア中部の地震

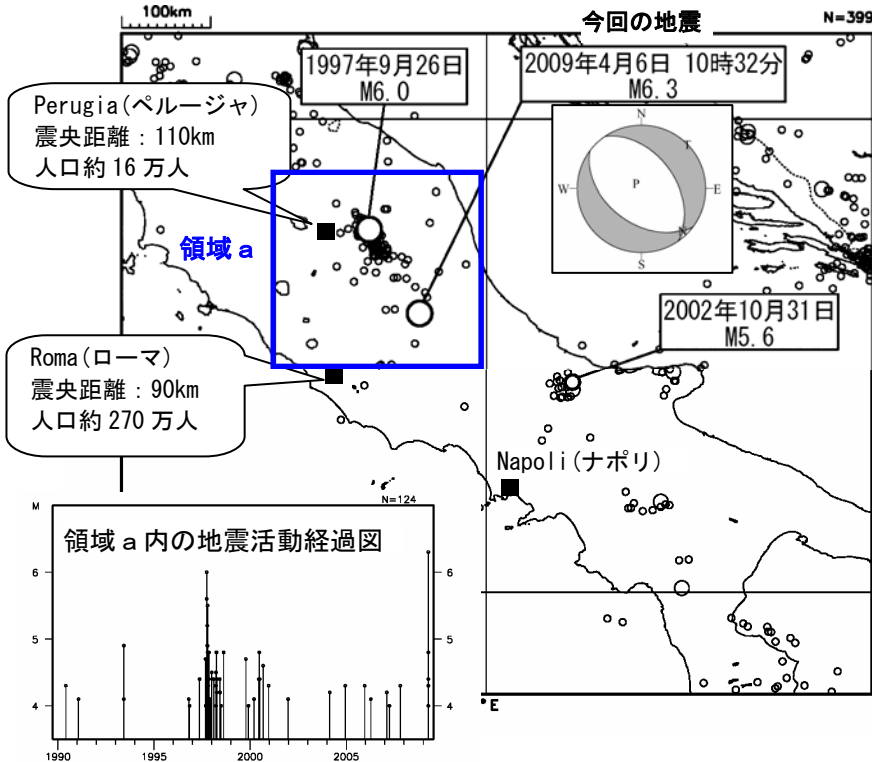
2009年4月6日10時32分頃（日本時間）、イタリア中部でM6.3の地震（北緯42.4°、東経13.3°、深さ約10km、震源位置およびマグニチュードは米国地質調査所[USGS]による）が発生した。この地震の発震機構（気象庁CMT解）は北東-南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。

4月7日11時現在、震源に近いラクイラ周辺では、多数の建物が崩壊し、死者が150人以上に達しているとの情報がある（英国放送協会[BBC]による）。

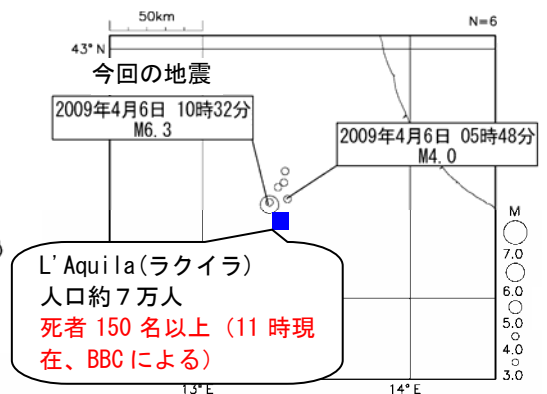
今回の地震の震源周辺では1915年1月13日にM7.0の地震が発生し、死者32,610人などの被害が発生している。

震央分布図（1990年以降、深さ100km以浅、M≥4.0）

※震源要素は米国地質調査所による。

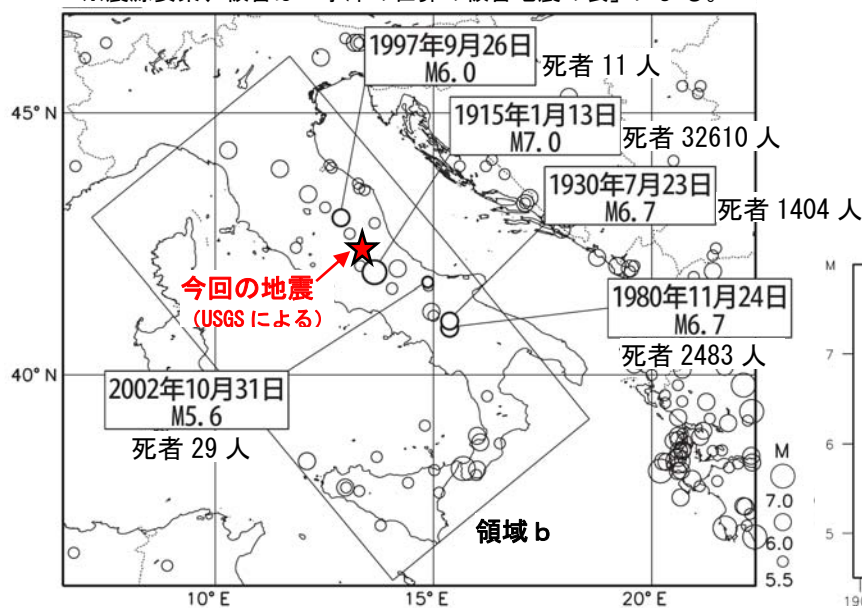


震源付近の震央分布図  
（4月1日～4月7日11時）



震央分布図（1900年以降、深さ100km以浅、M≥5.5）

※震源要素、被害は「宇津の世界の被害地震の表」による。



領域 b 内の地震活動経過図

